

## 平成23年度決算の概要

市の財政は、皆さんに納めていただいた市税のほか、国や都からの補助金などの収入から成り立っています。そして、そのお金は、福祉、教育、まちづくりなど、皆さんの暮らしに深いかかわりを持つさまざまな分野に使われています。

そこで、どのようなお金が入ってきて何に使われているのかなどをお知らせするため、財政状況を公表しています。

今回お知らせするのは、平成23年度の一般会計と6つの特別会計の決算、市の財産、借入金などの概要です。

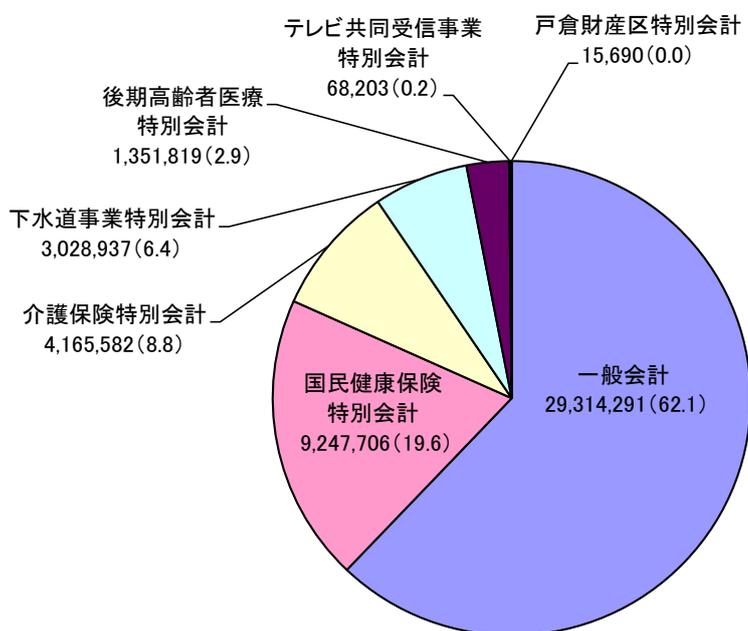
### < 各会計の決算状況 >

(単位：円)

区 分	予 算 額	歳 入 決 算 額	収入率	歳 出 決 算 額	執行率
一 般 会 計	29,643,110,000	29,314,290,634	98.9%	28,744,556,516	97.0%
特 別 会 計	17,402,155,000	17,877,937,529	102.7%	17,189,198,782	98.8%
国民健康保険	8,768,048,000	9,247,706,398	105.5%	8,736,975,479	99.6%
後期高齢者医療	1,344,481,000	1,351,818,732	100.5%	1,310,790,177	97.5%
介護保険	4,166,305,000	4,165,581,784	100.0%	4,068,314,774	97.6%
戸倉財産区	14,002,000	15,689,701	112.1%	7,332,776	52.4%
下水道事業	3,022,049,000	3,028,937,383	100.2%	2,997,745,361	99.2%
テレビ共同受信事業	87,270,000	68,203,531	78.2%	68,040,215	78.0%
合 計	47,045,265,000	47,192,228,163	100.3%	45,933,755,298	97.6%

一般・特別会計決算(歳入)総額:47,192,228千円

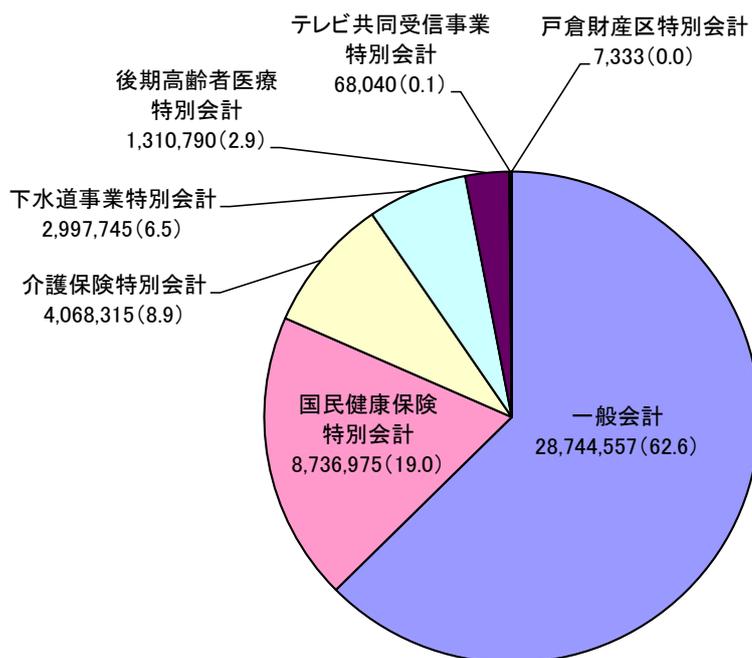
(単位:千円、%)



< 凡例 >  
項目  
金額(構成比)

一般・特別会計決算(歳出)総額:45,933,755千円

(単位:千円、%)



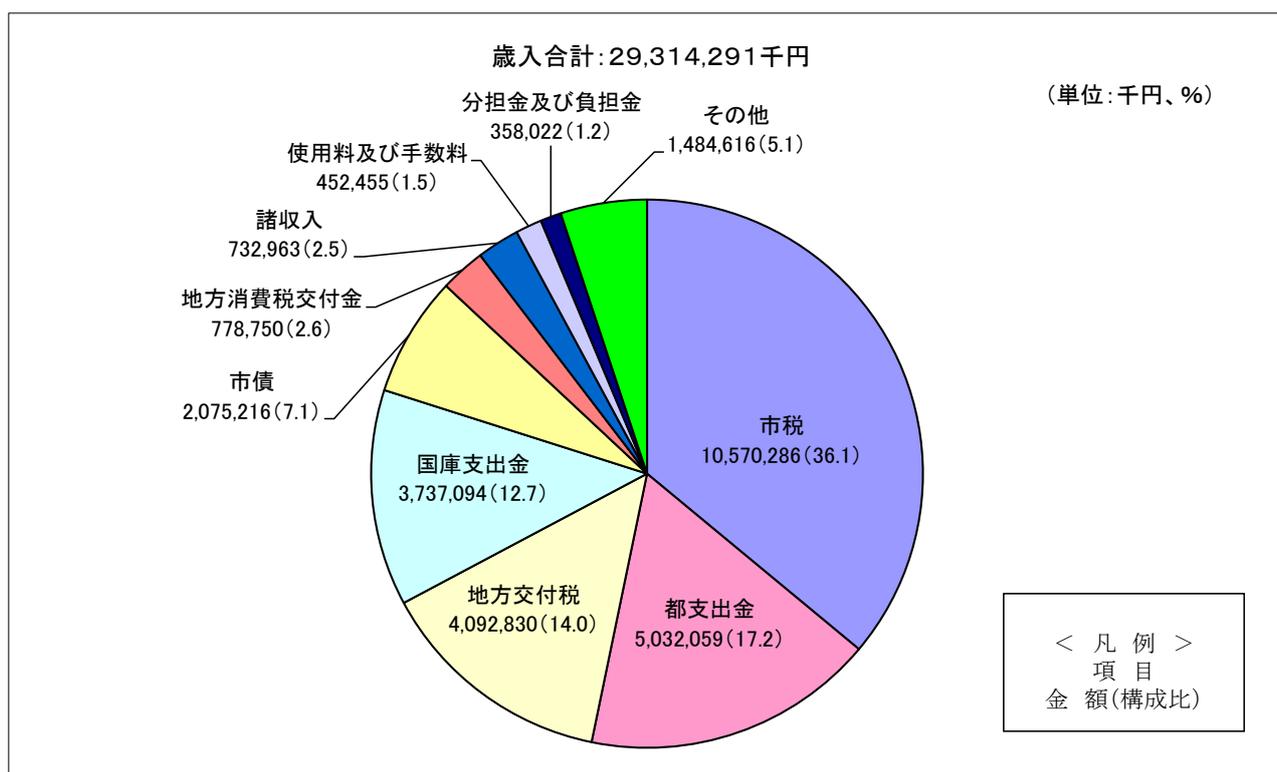
< 凡例 >  
項目  
金額(構成比)

## ＜一般会計の決算状況＞

一般会計の予算額は、当初予算後に5回の補正を行った結果、前年度からの繰越額を含めて、296億4,311万円となりました。

決算額は、歳入が、293億1,429万634円（収入率98.9パーセント）歳出が、287億4,455万6,516円（執行率97.0パーセント）となり、差引き5億6,973万4,118円を平成24年度へ繰り越しました。

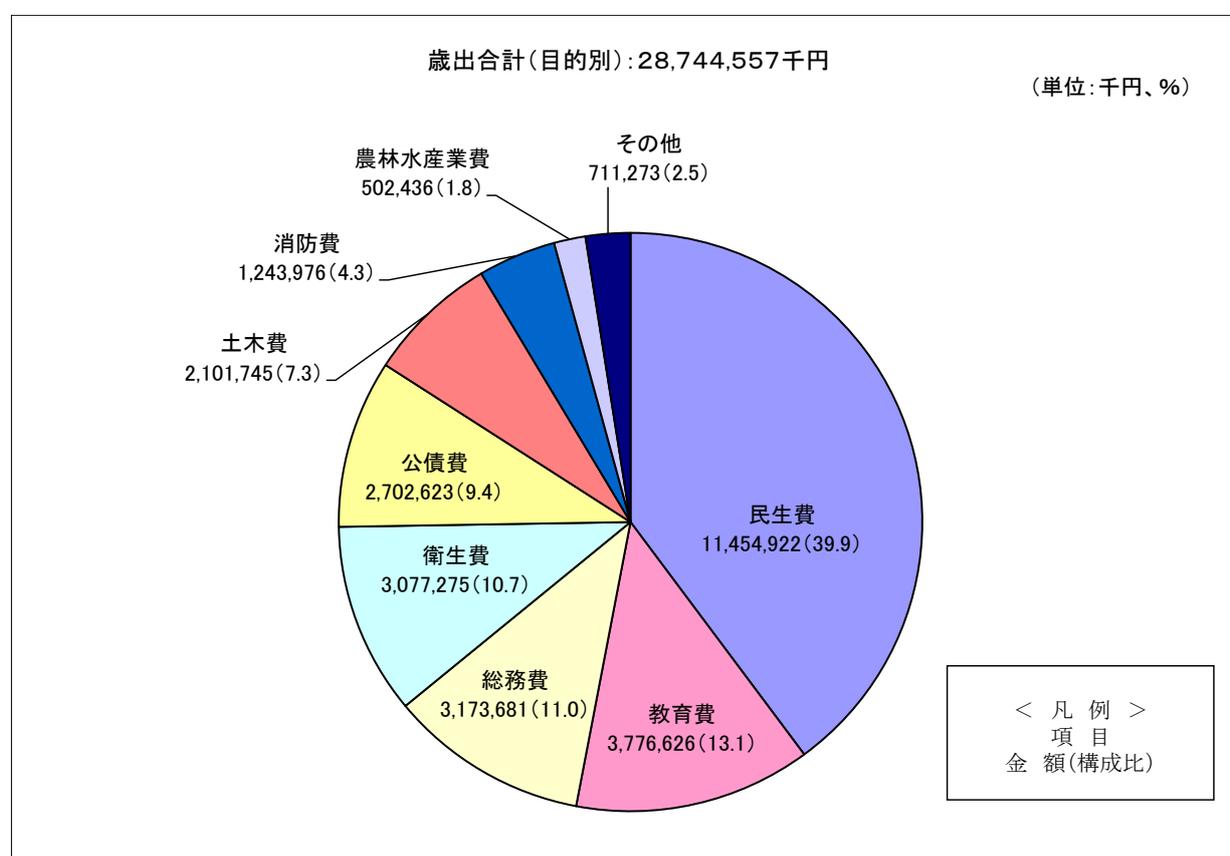
歳 入		（単位：円）			
区 分	予 算 額	決 算 額	構 成 比	収 入 率	
市 税	10,560,483,000	10,570,285,478	36.1%	100.1%	
都 支 出 金	5,171,149,000	5,032,059,458	17.2%	97.3%	
地 方 交 付 税	4,005,815,000	4,092,830,000	14.0%	102.2%	
国 庫 支 出 金	3,815,134,000	3,737,093,589	12.7%	98.0%	
市 債	2,238,316,000	2,075,216,000	7.1%	92.7%	
地方消費税交付金	771,428,000	778,750,000	2.6%	100.9%	
諸 収 入	771,467,000	732,963,337	2.5%	95.0%	
使用料及び手数料	463,036,000	452,454,749	1.5%	97.7%	
分担金及び負担金	362,249,000	358,021,593	1.2%	98.8%	
そ の 他	1,484,033,000	1,484,616,430	5.1%	100.0%	
合 計	29,643,110,000	29,314,290,634	100.0%	98.9%	



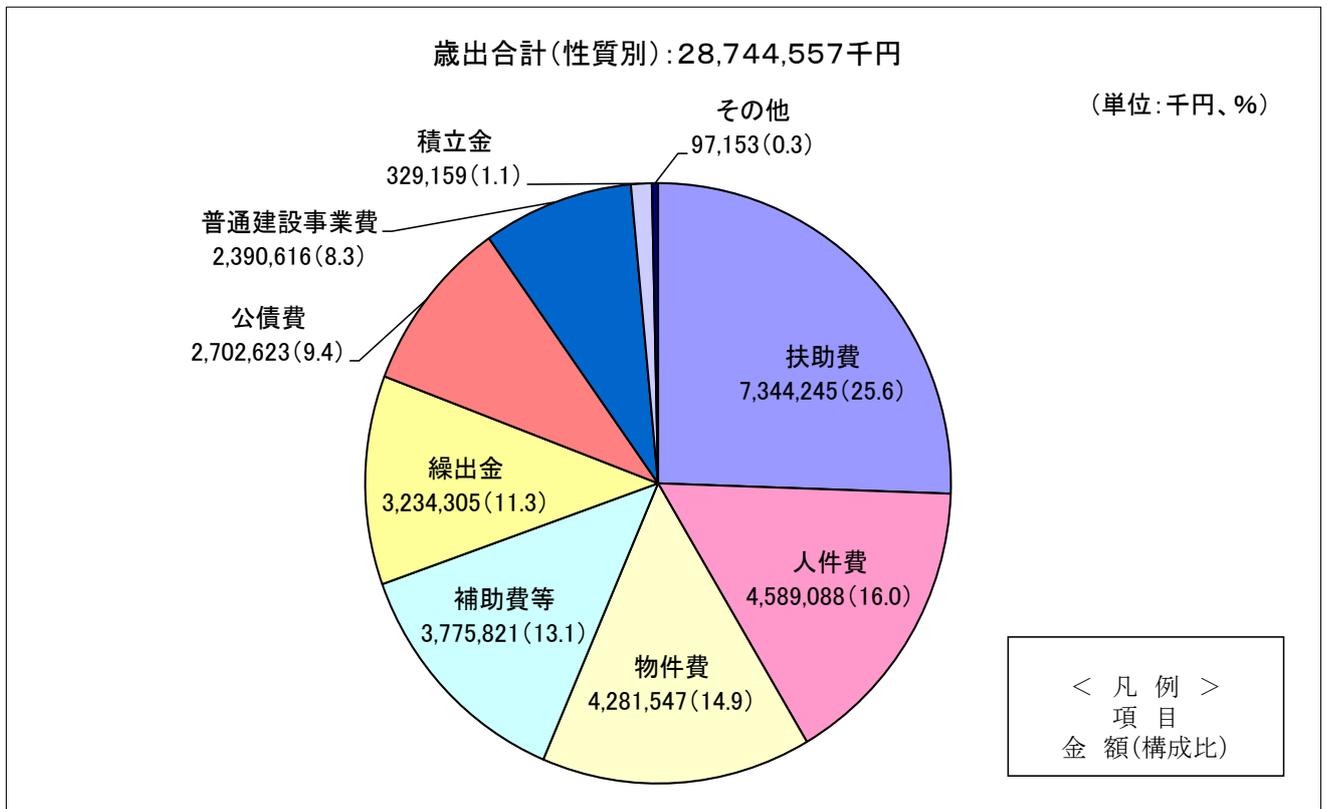
歳出（目的別）

（単位：円）

区分	予算額	決算額	構成比	執行率
民生費	11,696,599,000	11,454,922,421	39.9%	97.9%
教育費	3,874,627,000	3,776,625,657	13.1%	97.5%
総務費	3,268,647,000	3,173,680,873	11.0%	97.1%
衛生費	3,167,893,000	3,077,275,420	10.7%	97.1%
公債費	2,706,459,000	2,702,623,013	9.4%	99.9%
土木費	2,354,368,000	2,101,744,085	7.3%	89.3%
消防費	1,298,882,000	1,243,976,444	4.3%	95.8%
農林水産業費	541,294,000	502,435,672	1.8%	92.8%
その他	734,341,000	711,272,931	2.5%	96.9%
合計	29,643,110,000	28,744,556,516	100.0%	97.0%



歳出（性質別）		（単位：千円）	
区分	決算額	構 成 比	
扶 助 費	7,344,245	25.6%	
人 件 費	4,589,088	16.0%	
物 件 費	4,281,547	14.9%	
補 助 費 等	3,775,821	13.1%	
繰 出 金	3,234,305	11.3%	
公 債 費	2,702,623	9.4%	
普 通 建 設 事 業 費	2,390,616	8.3%	
積 立 金	329,159	1.1%	
そ の 他	97,153	0.3%	
合 計	28,744,557	100.0%	

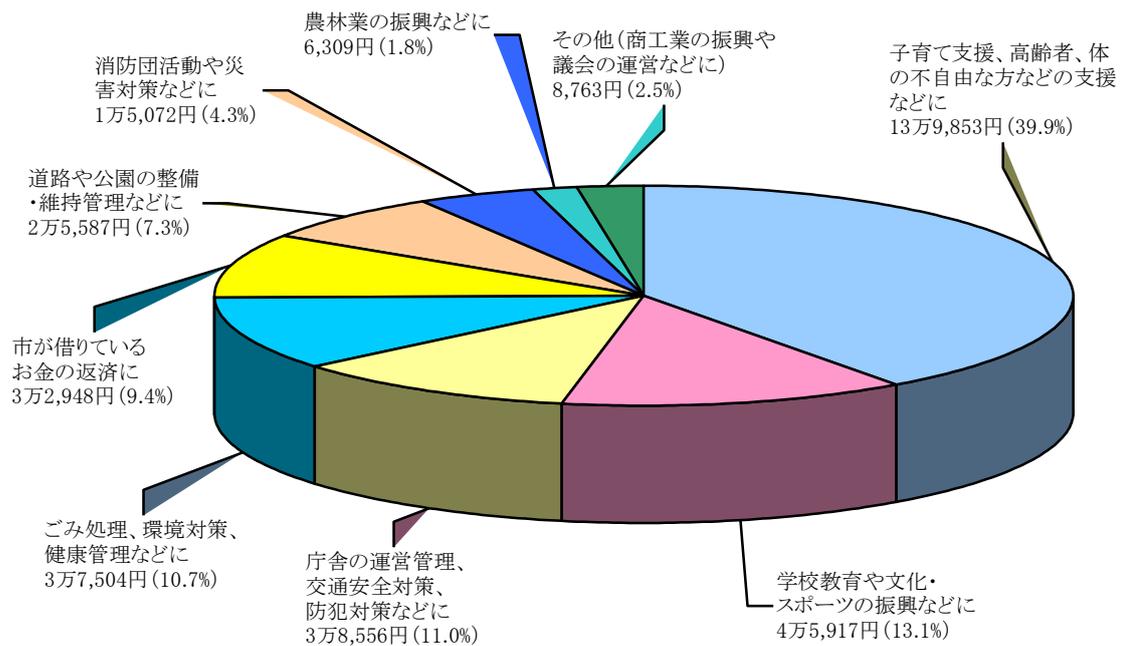


＜市民1人当たり・1世帯当りに使われたお金＞

【一般会計歳出決算額】 287億4,455万6,516円	
【1人当りに使われたお金】 35万509円	【1世帯当りに使われたお金】 85万2,600円
【総人口】 8万2,008人	【総世帯】 3万3,714世帯

※総人口・総世帯は平成24年3月31日現在

＜市民1人当りに使われたお金（35万509円）の使いみち＞



＜市有財産の状況＞

- ・ 土地面積（学校敷地など） 594万5,244㎡
- ・ 建物面積（庁舎など） 19万1,809㎡
- ・ 自動車保有台数（消防車両27台を含む） 90台
- ・ 出資金などの現在高 1億306万5,000円

## ＜基金の状況＞

基金とは、今後の支出に備えて特定の目的ごとに積み立てている資金です。平成23年度末現在の基金の現在高は、17基金で、28億3,495万9,370円となっています。

基金名称	基金の現在高
財政調整基金	933,158,000円
テレビ共同受信施設整備基金	753,136,591円
公共施設整備基金	252,938,000円
国民健康保険基金	206,707,277円
介護給付費準備基金	205,584,681円
戸倉財産区基金	123,566,000円
ふるさとの緑地保全基金	115,971,000円
小峰工業団地地形形成基金	53,945,000円
市営住宅整備基金	33,335,000円
郷土の恵みの森づくり事業基金	32,379,000円
羅災救助基金	28,045,000円
観光振興基金	23,845,000円
育英資金貸付基金	22,972,821円
社会福祉基金	19,125,000円
減債基金	18,672,000円
健康づくり応援基金	6,579,000円
国民健康保険高額療養費資金貸付基金	5,000,000円
合 計	2,834,959,370円

※平成23年度末現在の基金の現在高は、平成23年度出納整理期間（平成24年4月1日から同年5月31日まで）の終了後の現在高を記載しています。

## ＜市債の状況＞

道路、公園、学校などの公共施設の整備には、一度に多くのお金が必要となるため、国や都の同意を得て、国、都、銀行などからお金を借ります。これを市債といいます。

市債の活用により、これから利用される世代の方々にも負担していただくことで、世代間の負担の公平を図っています。

下表のとおり、市債は前年から約8億9,000万円減少しています。また、一部事務組合の借入金などで当市が将来的に負担すべき額も前年から約3億7,000万円減少しており、これらを合わせると平成22年度から約12億6,000万円減少しています。

市債の目的		市債の現在高	
一般会計	普通債	教育債（学校や図書館などの整備のために）	4,651,825,098円
		衛生債（保健センターなどの整備のために）	3,206,273,690円
		土木債（道路などの整備のために）	2,361,830,791円
		総務債（庁舎建設などのために）	2,057,858,085円
		商工債（観光施設などの整備のために）	1,403,457,296円
		消防債（消防施設の整備のために）	146,663,918円
	その他	民生債（児童館などの整備のために）	140,090,915円
		臨時財政対策債 <sup>※1</sup> （財源確保のために）	9,689,059,381円
		減税補てん債 <sup>※2</sup> など（財源確保のために）	2,182,419,988円
計		25,839,479,162円	
下水道事業特別会計（下水道の整備のために）		25,121,191,730円	
合 計 ①		50,960,670,892円	
平成22年度末残高 ②		51,847,016,821円	
差 し 引 き ①－②		△886,345,929円	

※1 臨時財政対策債とは、国から地方公共団体に分配する地方交付税が足りないため、その不足する金額の一部を借り入れる市債で、その元利償還金は後年度に地方交付税として措置されます。

※2 減税補てん債とは、国の減税政策による個人住民税などの減収を埋めるために借り入れる市債で、その元利償還金は後年度に地方交付税として措置されます。

（参考）一部事務組合の借入金などで、当市が将来的に負担すべき額

区 分		現 在 高
一部事務組合	阿 伎 留 病 院 組 合	4,752,927,712円
	西 秋 川 衛 生 組 合	382,293,738円
	秋 川 流 域 斎 場 組 合	285,701,394円
	秋 川 衛 生 組 合	0円
あきる野市土地開発公社（簿価残高）		4,251,173,803円
合 計 ①		9,672,096,647円
平成22年度末残高 ②		10,044,638,247円
差 し 引 き ①－②		△372,541,600円

## <特別会計の状況>

### [国民健康保険特別会計]

主な収入済額は、国民健康保険税、国、都の支出金、社会保険診療報酬支払基金からの交付金と一般会計からの繰入金です。主な支出済額は、保険給付費で、全体の65.5パーセントを占めています。

### [後期高齢者医療特別会計]

主な収入済額は、後期高齢者医療保険料と一般会計からの繰入金です。主な支出済額は、広域連合納付金で、全体の90.8パーセントを占めています。

### [介護保険特別会計]

主な収入済額は、65歳以上の方からの保険料、社会保険診療報酬支払基金からの交付金(40歳以上64歳以下の方からの保険料)、保険給付費に対する国、都からの負担金と一般会計からの繰入金です。主な支出済額は、居宅介護サービス費や施設介護サービス費などの保険給付費で、全体の92.1パーセントを占めています。

### [戸倉財産区特別会計]

主な収入済額は、基金繰入金と会館使用料です。主な支出済額は、森林の保育管理経費です。

### [下水道事業特別会計]

主な収入済額は、国や都からの補助金、市債、使用料と一般会計からの繰入金です。主な支出済額は、公共下水道の污水管布設工事費、維持管理費と市債の償還金です。

平成23年度の公共下水道事業として、污水管を約1,255メートル布設しました。整備面積は3ヘクタールで、前年度までとの累計で1,313ヘクタールとなりました。

### [テレビ共同受信事業特別会計]

主な収入済額は、施設整備基金繰入金と加入者分担金です。主な支出済額は、受信施設整備事業費と施設整備基金積立金です。